

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-2		事業名	メガワットソーラー共同利用モデル検討事業			
担当	環境局環境都市推進部エネルギー対策課 宮嶋						211-2872
全体計画							
事業内容	地球温暖化対策の推進のため、市内に民間事業者主体で1000kw規模の太陽光発電施設を設置し、市・民間団体、市民共同により利用するモデル事業の検討をおこなう。			<年度別の事業内容>			
				2007年度:先進事例の調査、設置場所、事業手法の基礎調査 2008年度:事業化の詳細検討、事業主体の検討 2009年度:建設開始 2010年度:建設完了、事業開始			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	先進事例の調査(長野県佐久市ほか調査)、設置施設、事業手法の基礎調査(調査委託)、外部検討委員会開催経費			平成19年度に引き続き、基礎調査をもとに、事業化の詳細検討(概算整備費用の算定、および事業体の収支見込シミュレーション)、事業主体の選定			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1,000kW規模の太陽光発電所の設置						1施設	1施設
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 検討委員(NPO、企業グループ、研究機関等の外部有識者)の協力を得て進めている。市民出資による市民参加により、共同利用することを目指している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 企業からの出資による共同事業 [人材協力] - [情報協力] 検討委員からの情報協力を得ている [その他の協力] -</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 上記検討委員会の開催</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-2		事業名	メガワットソーラー共同利用モデル検討事業		
評価(成果)			課題			
市民参加の事業を実現できれば、太陽光発電の加速的普及促進による札幌市温暖化対策推進計画の目標(2010年度市内導入9,300kw)の達成が期待できる。			建設費用等の事業費の調達、および民間主体として事業実施する場合の事業主体の確保。			
今後の事業の予定・方向						
民間主体による事業開始。約20年間の事業運営。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債					
予算	事業費	3,700	3,700	-	-	7,400
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	1,936	-	-	-	1,936
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
調査委託費の契約差金						
[20年度]						